岡山市議会議員（北区選出）　自由民主党岡山市議団所属

松田たかゆき　市政活動報告

Vol. 5

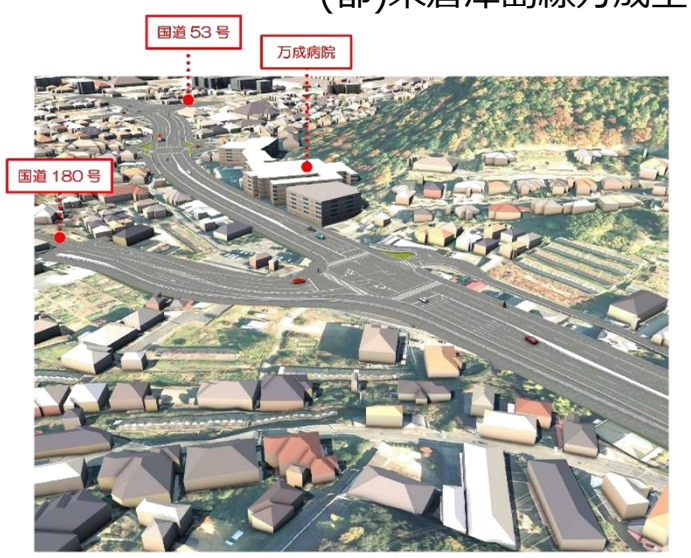
ごあいさつ

平素は私の議員活動に対しまして、温かいご理解とご指導を賜り、心より感謝を申し上げます。市議会議員となって三年目を迎え、今年5月より常任委員会では、保健福祉委員会副委員長を拝命し、保健福祉、子ども・子育てなどに関する議案や施策の審査・調査などを担当しています。また、特別委員会は、大都市制度・広域連携調査特別委員会に所属いたしました。後半二年間ではありますが、初心を忘れることなく精進してまいりますので、よろしくお願いいたします。

岡山市議会議員　松田隆之

TOPIX

(都)米倉津島線万成工区整備について（計画概要）



区　　間	関西高校前⇒万成病院⇒国道５３号線
延長と幅員	延長は1,150m 幅員は27mで車道4車線に両側歩道
事業行程	H30年度：国道180号線管理移管完了 H31年度：地元・関係機関協議、事業認可 H32年度：事業着手予定
事業効果	国道53号線、180号線の渋滞解消を図る

活動NEWS

国・警察・市協議（視覚障害者信号）

勉強会（水道メーター等自動検針）

地元協議（ソーラー設置雨水対策）

発行｜松田たかゆき事務所　岡山市北区立田140-8　(086)287-5697　　平成29年夏号

６月定例岡山市議会　質問と答弁（抜粋）

質問項目

- 太陽光発電施設の設置
- 難病患者等の相談・支援体制
- 吉備路の観光振興（造山古墳資料館など）
- 市街化区域の再編と土地利用

太陽光発電施設の設置について

Q 市内の未利用地や樹林地へ太陽光パネルを設置する場合のトラブル事例は。

土地の造成において適切な整備がなされず、雨水排水や土砂流出により地域住民に不安を与えた事例を把握している。

Q 一定規模以上の太陽光発電施設の設置を許可制とするとともに、策定予定の環境影響評価条例の対象施設とすべきでは。

先ずは、環境保全条例の中で協定を結ぶような対応ができないか検討する。各自治体の中では、太陽光発電に特化した条例を作っている自治体もあり調査研究したい。
環境影響評価条例の対象事業にすることは、環境総合審議会での審議など幅広い市民の意見を踏まえて検討したい。

難病患者等の相談・支援体制について

Q 市の難病患者支援の実施体制は。

特定医療費の支給認定や受給者証の発行事務、難病相談支援などは、保健所健康づくり課が、指定医、指定医療機関の指定事務については、保健管理課が行うことを検討している。

Q 岡山県から「ピア・サポート相談事業」を受託している「岡山県難病団体連絡協議会」は、市民への支援の充実を図るため、「岡山市難病患者連絡会」を設立している。連携すべきでは。

患者同士の交流や情報交換を行う事業には、患者会との連携が必要と考えており、効果的な事業実施に向けてどのような連携ができるのか、何を担っていただくか、今後、患者会や県と協議したい。

吉備路の観光振興について

Q 岡山市は、倉敷市、総社市、赤磐市の4市とともに日本遺産の申請を行ったが、残念な結果となりました。ご所見と今後の予定は。

【市長答弁】全国から79件の申請があり、17件が認定されたと聞いており、狭き門であったとも思っている。次回の申請に向け、タイトルやストーリー構成等についてフラッシュアップし再チャレンジしたい。

Q 今年秋に行われる吉備路周遊事業は。

吉備津彦と温羅のストーリーや各スポットの歴史・文化的背景をビデオ動画で学習しながら吉備津神社や鬼ノ城などの桃太郎伝説ゆかりの地を周遊するバスを本年10月、11月の土日祝日を基本に計20日程度運行する予定。

Q 平成29年度の吉備路・吉備高原自転車道の整備事業内容と事業費は。

事業費を約1,000万円とし、両路線の迷いやすい分岐点などに県下統一の誘導用路面標示を約80ヶ所程度、案内看板の更新を20ヶ所程度行う予定。必要に応じて路面の修繕を実施する。

Q 昨年度造山古墳を見学した児童・生徒数は、56校4,851人であり、延べ138人のガイドさんが造山古墳を案内している。展示パネルや映像解説などを備えた、資料館（ビジターセンター）を整備してもらえないか。

【市長答弁】平成31年度の一般公開に向けて千足古墳の整備が進んでおり、子供たちや来られた方々に、より興味深く歴史背景や文化財の状況を知っていただくために何が必要か検討する。今年度中にもその整備のあり方、とりあえずの方向性を見定めたい。

市街化区域の再編と土地利用について

Q 市は、国家戦略特区制度において、企業用地を目的に、農振除外ができない土地改良事業の受益地について規制緩和を求めている。岡山総社IC付近の農用地に地区計画の活用ができるのか。また土地改良事業の計画段階からの調整等可能か。

岡山総社IC付近は、農振農用地で土地改良事業完了後8年未満の受益地であり地区計画の策定を速やかにすることは難しい。また、土地改良事業の計画段階において、地区計画の活用が確実に見込まれる場合には、予め受益地の調整がなされる場合もあると考える。

市政または地域のことについてご相談・ご要望等ございましたらお気軽にご連絡下さい。